

あかいわ地域商社の公募に関する

# ご提案

[AKAIWA-setouchi.jp](http://AKAIWA-setouchi.jp)

# 1.地域商社の概要

名称	株式会社AKAIWA-setouchi.jp
所在地	赤磐市石蓮寺910-2(当初事務局)
主たる業務	<ul style="list-style-type: none"><li>◎赤磐市及び近隣市町村の農畜産物のブランド化</li><li>◎赤磐市及び近隣市町村の新品(加工品・コラボ商品)の開発</li><li>◎上記生産物・加工品の販売及び販路拡大<ul style="list-style-type: none"><li>・マルシェ(赤磐市内)の運営</li><li>・アンテナショップ(首都圏・近畿圏)の運営</li></ul></li><li>◎「ふるさと納税」の返礼品受注の代行</li><li>◎農業体験・食育の普及</li><li>◎若者を中心とした新規就農者の支援</li><li>◎その他</li></ul>
常時使用する従業員数	5名程度(段階的に増員)
資本金額	100万円～1,000万円(予定)
提供する商品・サービスの強み	赤磐市に本拠を置く農業生産法人、アルム株式会社を中心に、県内外のあらゆるジャンルのスペシャリストを集結。 これにより、地元の農畜産物を使った、今までにない加工品の開発を行えるだけでなく、販売においても、効果・効率を追求した事業が展開できる。
担当者(連絡先)	〒709-0731 岡山県赤磐市石蓮寺910-2 アルム株式会社 仁科 貴晴・中原 伸昌 TEL◇086-995-0527 FAX◇086-995-0576 Mail◇arm-tn@armnosato.jp

## 2.地域商社のテーマと内容

### テーマ(タイトル)

### グローバルブランド「AKAIWA」誕生物語

### 提案テーマの概要

赤磐市内で生産される農産物及び加工品を、安全かつ高品質に安定供給できる体制を整備。これを「AKAIWA」ブランドとして効果・効率的に販売することにより、赤磐の産品が、日本中、そして世界へと広がること。そして、雇用の拡大、耕作放棄地の解消などを目指す。さらには、こうした魅力の発信によって、国内はもとより世界各国から赤磐の街へ多くの人を訪れることで、赤磐の街に“賑わい”がもたらされることを究極の目的とする。

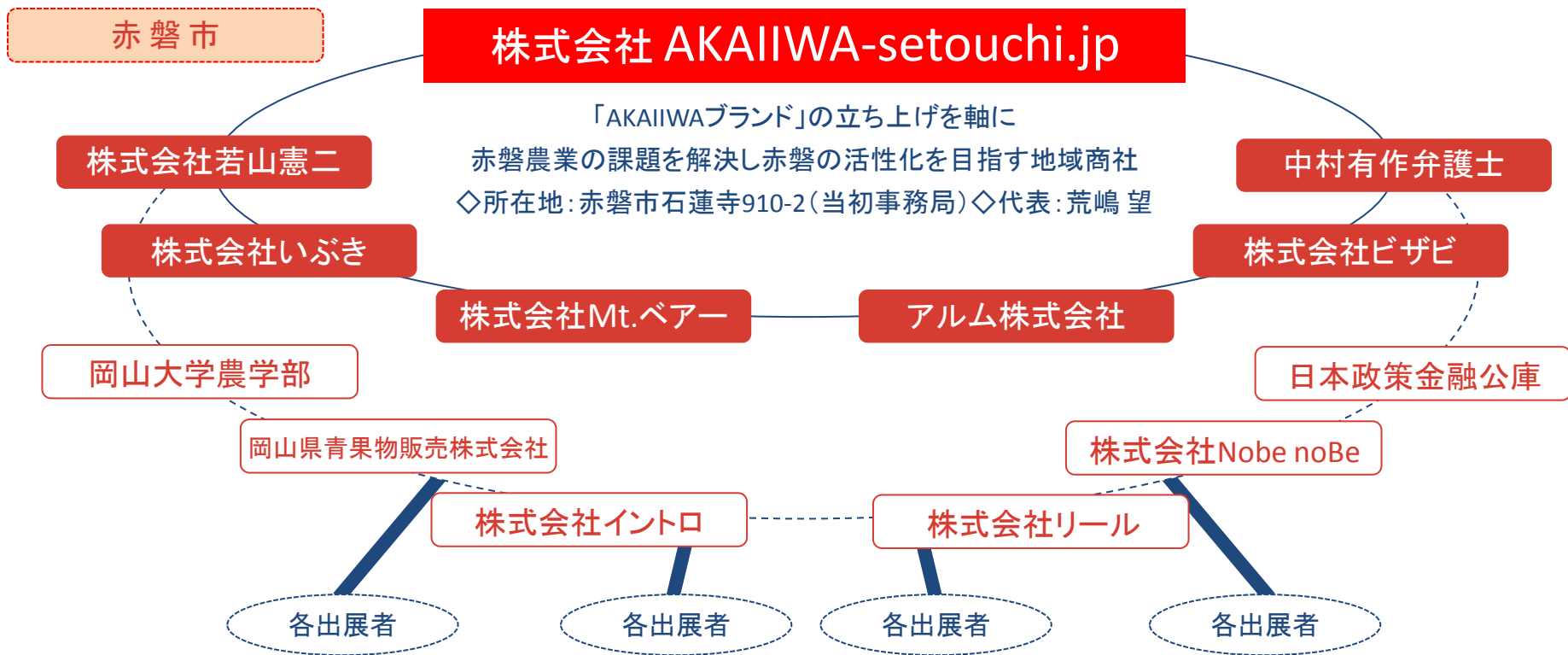
#### 経営理念

## 経世済民の志を抱く

#### 経営方針

- ①地域商社としての目的を明白にする
- ②具体的な計画を立てる
- ③実現できると信じる
- ④途中であきらめない
- ⑤失敗を恐れない

## 各分野のスペシャリストが結集した共同企業体



参画中核企業

業務提携企業

### 地域商社の中核を担う企業 & スペシャリスト

#### 参画中核企業

参加企業	企業の概要	株式会社AKAIWA-setouchi.jpでの役割
株式会社Mt.ベアー	赤磐市に本社を置く食品加工会社 農畜産物・加工品の卸FCの運営、六次産業化支援	株式会社AKAIWA-setouchi.jpの中核(当初事務局) 「AKAIWAブランド」に向けての農畜産物の加工 及びマルシェ等で提供する食品のセントラルキッチン機能
アルム株式会社	赤磐市に本社を置く農業生産法人 最先端の養鶏手法を用いて高品質の鶏卵を生産	マルシェ等で販売する鶏卵を出荷及び販売する食品の材料を提供 また、鶏糞を市内の農家等に提供することで循環型農業を推進
株式会社いぶき	岡山市に本社を置く農業生産法人 現役大学生(岡山大学)が立ち上げた 瀬戸内市で野菜を生産する他若者の就農普及活動も	マルシェ等で販売する野菜を出荷 及び販売する食品の材料を提供 また、若者の就農指導等も手掛けていく
株式会社若山憲二	東京に本社を置くクリエイティブ会社 若山氏は岡山出身で日産自動車、オンワード樫山、 カネボウなどの広告を手掛けてきたコピーライター&CD	「AKAIWAブランド」のブランディング及び 事業活動の立案とクリエイティブの監修・制作を行う
中村有作弁護士	岡山市に事務所を置く弁護士 数々の刑事事件に実績	株式会社AKAIWA-setouchi.jpの事業展開における 法務的な監査を行う
株式会社ビザビ	岡山市に本社を置く広告会社 「月刊タウン情報おかやま」「オセラ」など 地域情報誌の出版と人材ビジネスも展開	「AKAIWAブランド」の広報・広告計画を立案・実施する

### 各分野のスペシャリストと業務提携

#### 業務提携企業

参加企業	企業の概要	株式会社AKAIWA-setouchi.jpでの役割
株式会社イントロ	東京に本社を置く飲食プロデュース業 都内で産地にこだわった高級居酒屋や レストランを運営	「AKAIWAブランド」のアイテムづくりやマルシェ運営 ならびに移動販売事業について 東京感覚のサジェッションや企画提案をいただく
株式会社Nobe noBe	岡山市に本社を置く飲食プロデュース業 食材にこだわった独創的なメニューで イタリアンレストランを運営	マルシェ等で販売するメニュー開発に協力いただく
岡山県青果物販売 株式会社	岡山市に本社を置く青果物の生産・加工・販売業者 「おかやま桃子」「FURUITS-J」など百貨店等でも好評の ブランドを展開する	マルシェ等で販売する商品(生産物・加工品) 及びコーヒーフレーバーの選定などに協力いただく
株式会社リール	岡山市に本社を置くデザイン会社 Webサイトの制作の他、グラフィック、出版物の 企画・編集などを手掛ける 「スマホ天体望遠鏡」は大ヒット	包装材や広告・広報物のデザイン Webサイトの制作で協力いただく
岡山大学農学部	岡山市にある国立大学法人	産官学連携のモデルとして横溝教授(農業経営学)を中心に 農業の近代化、農作物の改良などで知見をいただく
日本政策金融公庫 岡山支店	100%政府出資の政策金融機関	株式会社AKAIWA-setouchi.jpの事業資金を融資いただく

### AKAIWAブランドストーリー ～ 桃と卵とコーヒー ～

---

この地球上に瀬戸内の光がふりそそぐ赤磐という土地がある。

大地に堅実でまじめな人々が住む。

名品の桃をはじめ農作物が豊かに実り、鶏たちがたまごを産む。

この土地に、どこよりも豊かな生活文化が生まれた。

### 赤磐・アカイワ・AKAIWA

.....なんという響きのよさ。

誠実で真面目な人々と自然の合作で生まれる。

そのすべてが「AKAIWAブランド」、人気の産物。

そして、21世紀のはじめ、ひとつの“AKAIWA REVOLUTION”が起きた。

誰かが発明した桃の香ばしい「AKAIWA Flavor Coffee」。

HAWAII島から直輸入の豆に、

希望の桃の香りをミックスした絶妙のコーヒーがこの地に舞い降りたのだった。

一躍、アカイワで生まれた人気の飲み物として、

世の中に「AKAIWA Flavor Coffee」が広まっていく。



## 5.事業計画 - 2 <概要>

### AKAIWAブランドの立ち上げ

産官学金の各分野からそれぞれのスペシャリストが県内外から集結し企画立案・提言を実施

官民協働

首都圏で「赤磐」及び「赤磐の農産物」の認知度調査  
首都圏の百貨店・高級青果店で取り扱う農産物の市場調査  
(千疋屋で扱われる桃・ぶどうと、何が違うのか?)

「AKAIWAブランド」足り得る農産物・加工品の開発

赤磐市の担当部署も巻き込んだPDCAサイクルを確実に回していく

自立・自走

### 収益性の確保

ロゴ・マーク・マスコット等を開発しプロモーション活動や首都圏等でのCM投下、イベント参加などを行っていく

3つの事業を柱に「自立・自走」が叶う収益性を確保していく

「AKAIWAブランド」の生産・販売

「AKAIWA農Cafe」の運営

「ふるさと納税」返礼品受注の代行

### 2次的展開 & 波及効果

地域商社の収益確保の目処が立った時点からの事業目標

政策間連携

赤磐の農業の活性化

政策間連携

人材確保

雇用創生・人材確保

地域間連携

他市町村への展開

### 最終目標

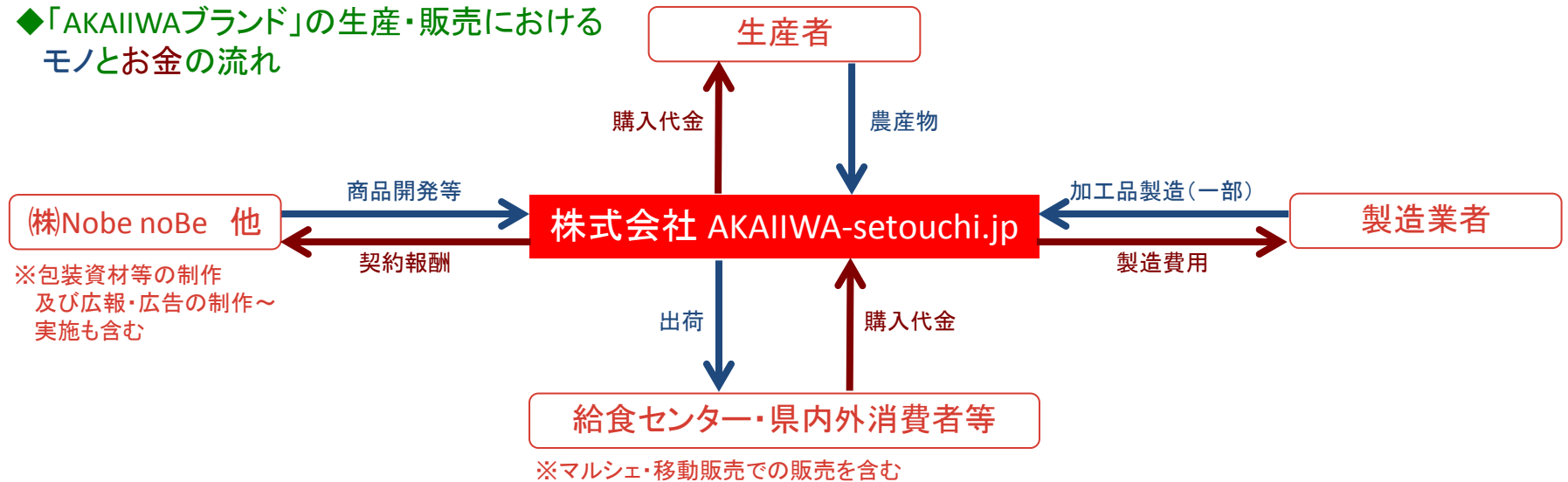
赤磐農業の課題解決のみならず、まちの活性化・観光面の魅力発信にも寄与

## 5.事業計画 - 3 <「AKAIWAブランド」の生産・販売>

### 「AKAIWAブランド」の生産・販売

地元生産者(アルムを含む)、いぶき、岡山大学と共同で、「AKAIWAブランド」の農畜産物の研究・開発・生産を実施。  
製品の基準を設け、生産者が競争意識をもって高品質の産品を生産する仕組みを構築。  
首都圏などの百貨店・高級青果店に当たり前に並ぶことを目指す。

#### ◆「AKAIWAブランド」の生産・販売におけるモノとお金の流れ



※工場(兼集荷場)を設置し、一次加工や加工品の製造及び卸しを行う。

### 「AKAIWA農Cafe」の運営

地域商社の中核拠点としてセントラルキッチン併用型イートイン店舗を運営。

「AKAIWA Flavor Coffee」で新たな生活文化を生み出すとともに、

認定生産物を使った料理・スイーツを提供。

また、キッチンカーによる移動販売も実施していく。

古い農家をリノベートしたイメージの農カフェが生まれた。

供されるのは、もちろん「AKAIWA Flavor Coffee」。

焙煎したり、サービスを提供してくれるのは、パートで働く農家の奥さんたち。

なんとなく、オシャレで様になっている。

農カフェでは、アカイワ名産のタマゴを使った料理・スイーツが楽しめる。

週末には、マルシェで「AKAIWAブランド」の農産物や加工品が売られている。

BBQスペースもAKAIWAの人たちが集まる場所。

近郊はもちろん、遠方からも大勢のお客さんが押しかけ、大賑わいになる。

一方、オシャレにペイントされたキッチンカーによる移動販売も好評だ。

岡山市内のオフィス街で、休日のイベント会場で、「AKAIWA Flavor Coffee」はもちろん、

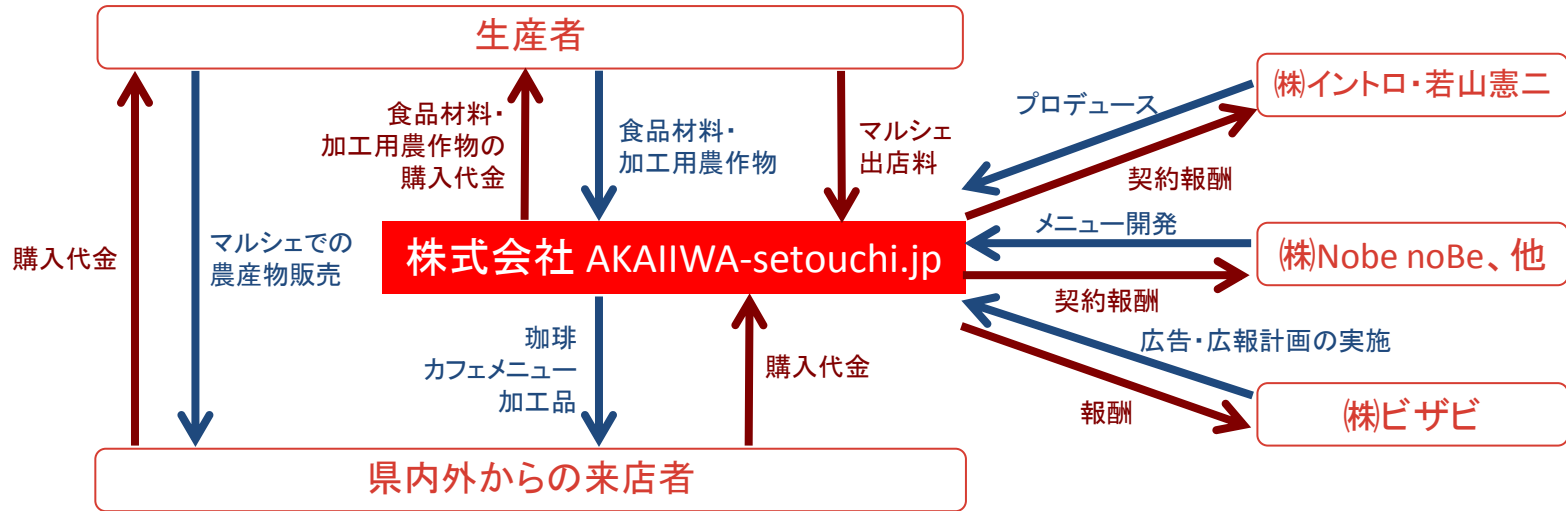
「AKAIWAブランド」の食材を使ったお弁当を求めて、いつも長蛇の列ができる。

夕刻に住宅地を廻って新鮮野菜も売られている。



「AKAIWA農Cafe」の運営

◆「AKAIWA農Cafe」におけるモノとお金の流れ

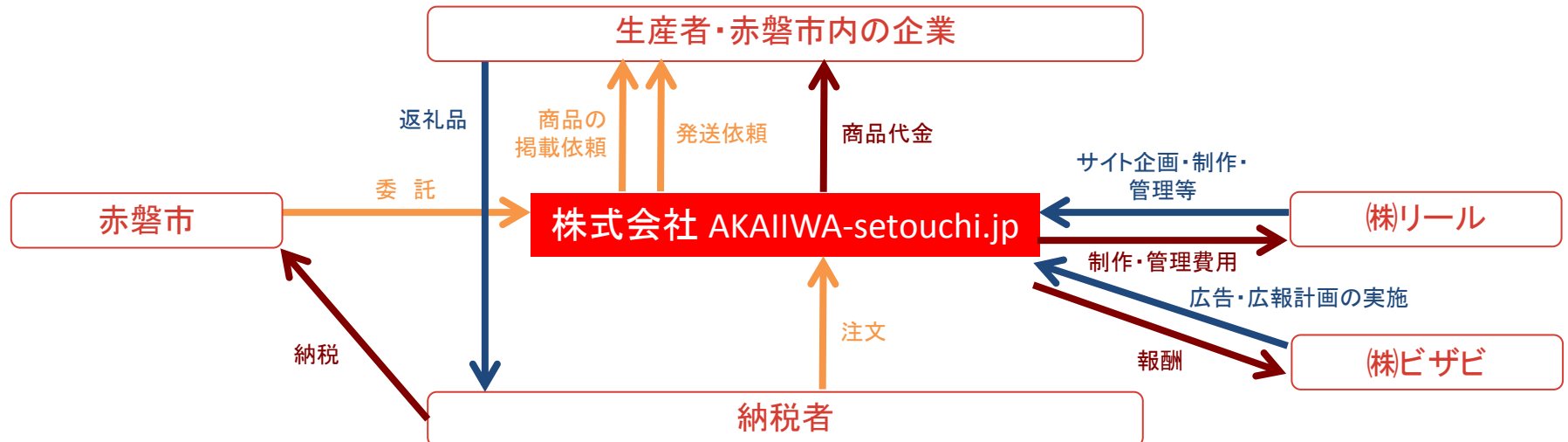


## 5.事業計画 - 5 <「ふるさと納税」返礼品受注の代行>

### 「ふるさと納税」返礼品受注の代行

「AKAIWAブランド」を軸に、  
赤磐市の産品を「ふるさと納税」の返礼品として扱う代行業務。  
生産者が産品を提供しやすいシステムで運営する。  
赤磐市を  
応援したいマチ、訪れてみたいマチ、  
愛着が持てるマチにと感じていただけるような、  
継続的な地域サポーターを全国に増やすために実施。

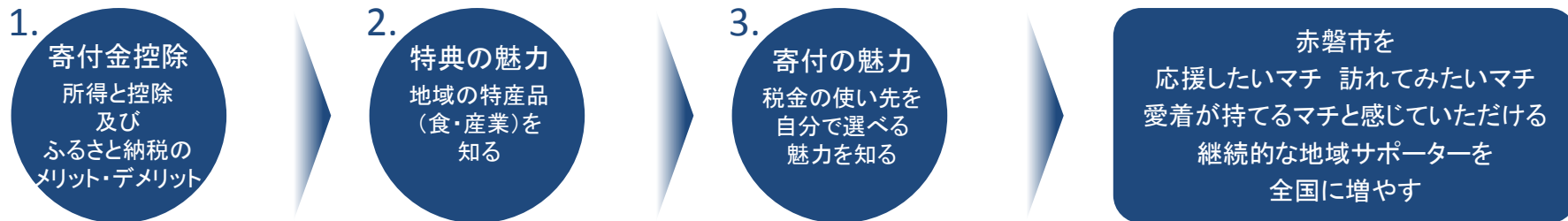
#### ◆「ふるさと納税」返礼品受注の代行における 情報及びモノとお金の流れ



### 「ふるさと納税」返礼品受注の代行

#### ◆ふるさと納税「赤磐市」特設Webサイトを開設

手軽さや仕組みを広く周知 + 興味をひく特典 + 未来へ関わる実感



POINT

自分の支払った税金の使い方を選択することができる唯一の方法。  
地域の課題をいくつか具体的に提示し、寄付後の解決への取組内容をきちんと「見える化」。  
継続的に地域の課題解決・地域の成長をサポートしたくなるような仕組みへと成長させる。  
また、どんな課題解決を希望しているのかの指数を測ることで、よりよい市政へと繋げる循環を。

POINT

特典品は、地域の特色、産業、風土、味覚をアピールできる絶好のアイテム。  
実際に市内にある産業の新たな魅力を探し出し、掘り起こしていく。  
各所得層に向けて、寄付価格を幅広く設定し、選ぶ楽しさと、話題づくりもつ含めた特典品を展開。

寄付額1万円～40万円までの多様な価格帯

生活に役立つ・観光につながる、多彩な特典内容

赤磐市ならではのコラボレーション特典

たとえば.....

- ・玄米と家庭用精米機 : いつでもおいしいお米を!
- ・自転車とIT機器 : サイクリングに快適です!
- ・ゴルフツアー券 : 赤磐に来てね!
- ・お酒と酒器 : コレクター必見!
- ・ドイツからお届け : 姉妹都市とのつながりをアピール!
- ・AKAIWAオリジナル商品 : 赤磐市の魅力満載!ここでしか手に入らない商品!  
など、他の地域の特産品とは、ひと味違った組み合わせと見せ方を

POINT

ふるさと納税の仕組み、利用の注意点、ざっくりとした納税額の上限の提示、納税方法、  
寄付金税額控除申告方法などを分かりやすく解説し、利用イメージを持てるようにする。  
利用時の不安をできる限り軽減するフォローツールになり、寄付へのきっかけづくりに。

## 5.事業計画 - 6 <2次的展開と波及効果>

地域商社としての収益確保の目処が立った時点から、  
2次的な展開を図り、さらなる波及効果を目指していく。

### 赤磐の農業の活性化

「AKAIWAブランド」の成功により、「農業はカッコイイ」との意識改革を促す。さらに農業の後継者不足対策として、若者の就農指導・支援を実施。商品作物の需要拡大を含め、耕作放棄地の解消にも繋げていく。また、鶏糞を活かした循環型農業も推進していく。

### 雇用創生・人材確保

当初は最低限の人員でスタートするが、軌道に乗れば、数十人規模での雇用創生は期待できる。また、将来的には、常に若い人材で運営していくことを想定。起業を目指す若者や、この事業に参画したい若者を受け入れ、各分野の専門家のノウハウを学ぶ場としても機能する。

### 他市町村への展開

赤磐での成功事例が、他市町村でのモデルとなり、ノウハウ指導なども実施。また、魚介類など、他市町村とのコラボレーションも視野に入れていく。

## 最終目標

**赤磐農業の課題解決のみならず、まちの活性化・観光面の魅力発信にも寄与**

直島の人々が“瀬戸芸”を通じてアート通となり  
訪れる人たちに自信をもって島の魅力を案内するように  
赤磐の街にもさりげなくコーヒーを愉しむオシャレな人々が増え  
それがひとつの生活文化として根づく  
5年 10年と時間が流れ  
そうした生活文化そのものが「AKAIWAブランド」と呼ばれるようになっていく

外国人も「日本へ行ったらAKAIWAへ行け!!」  
「岡山の赤磐」ではなく「AKAIWAがあるのは岡山」

## PDCAサイクルを回しながら着実な歩みを

事業		AKAIWAブランドの生産・製造	AKAIWA 農 Cafe	ふるさと納税	
主となる担当		<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社いぶき</li> <li>●株式会社 Nobe noBe</li> <li>●アルム株式会社</li> <li>●岡山大学</li> <li>◇赤磐市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社イントロ</li> <li>●株式会社若山憲二</li> <li>●株式会社 Nobe noBe</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社ビザビ</li> <li>●株式会社リール</li> <li>●中村有作弁護士</li> </ul>	
一年目	1月				
	2月	具体的な準備の開始	具体的な準備の開始	具体的な準備の開始	
	3月				
	二年目	4月	<b>平成 29 年 4 月 1 日 法人設立</b>		
		5月			
		6月	・他市町村の地域商社の視察等	・場所の確定	・参加市町村の情報収集
		7月	・首都圏の百貨店他の視察等	・販売商品の選定 (珈琲・料理・スイーツ)	・赤磐市との調整
		8月	・参加企業の募集及び選定	・従業員(販売員)の募集	・新規参加企業へのアプローチ及び仕組みの確立
		9月	・販売商品の試作及び販売方法の確定	・移動販売車の購入	・Web サイトの制作
		10月	・従業員(CK)の募集	・フレーバーの開発	
		11月		・Web サイトの制作	
		12月			
三年目		1月			
	2月				
	3月				
	4月	本格生産・製造開始	営業開始	運営開始	
	5月				
	6月	耕作放棄地の視察、再耕作準備			
	7月				
	8月			※概ね3カ月おきに商品を入替え	
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
平成31年	1月				
	2月				
	3月				

事業		AKAIWAブランドの生産・製造	AKAIWA 農 Cafe	ふるさと納税	
主となる担当		<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社いぶき</li> <li>●株式会社 Nobe noBe</li> <li>●アルム株式会社</li> <li>●岡山大学</li> <li>◇赤磐市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社イントロ</li> <li>●株式会社若山憲二</li> <li>●株式会社 Nobe noBe</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社ビザビ</li> <li>●株式会社リール</li> <li>●中村有作弁護士</li> </ul>	
四年目	4月				
	5月				
	6月				
	7月				
	8月				
	9月				
	10月	学校等への農業体験の案内	2店舗目の営業開始		
	11月				
	12月				
	五年目	1月			
		2月			
		3月			
4月		生産・農業体験開始			
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
平成33年	1月				
	2月				
	3月				